

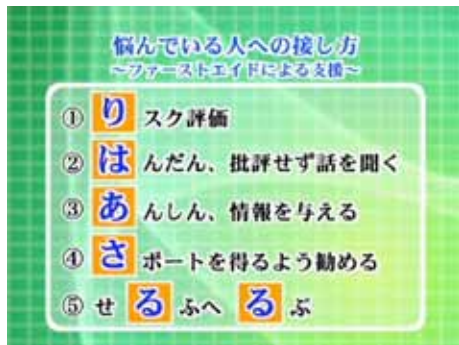


【仮設住宅編】

■ サロン活動対応

地震や津波の影響を受け、仮設住宅で暮らす杉田さん。かつては漁業で生計を立てていましたが港もダメージを受けてしまいました。周囲の仲間との交流も減り、孤立感がありますが、悩みを話せない日々が続きます。

高齢者：（仮設付近から遠くの海を見ている。ため息をつきながら、とぼとぼと仮設住宅に入る。ため息をつきながら寂しそうである。）



高齢者：（サロン活動に誘われて公民館に入る。）

ボランティア：（とぼとぼと歩く高齢者に気づく）  
杉田さん、こんにちは。

高齢者：こんにちは。

ボ ラ：お元気でしたか。

高齢者：（少し笑顔になる）  
はい。今日は、来てくださったんですか。  
いつもありがとうございます。

ボ ラ：さっき海見ていましたよね。

高齢者：ええ、生まれてからずっと海のそばで育って、浜で仕事をしていたもんだから、海が気になって見ていました。漁も始まったみたいだし…

ボ ラ：杉田さん、浜でずっと仕事してましたものね。

高齢者：そうです…ずっと浜で仕事してたもんだから、この年になって…  
やれ…津波で家流され、海から遠いところにいるもんだからなーに、寂しくてね…

ボ ラ：それで海見てたんですね。



高齢者：はい、そうです。若いもんは浜に出ているけど、私はもう年だから、家にいろって言われてね、だから家で留守番しているんです。

ボ ラ：杉田さん、普段は家で一人でいるんですか？

高齢者：そうです。海も少しずつ仕事が始まって、息子たちは仕事に出ているから、私は一人でいるんです。誰か来るかなと思って見ているんです。

ボ ラ：そうなんだ。

やっぱり一人でいると寂しいですね。



高齢者：そうです。なんか最近は調子が悪くて…

ボ ラ：どんな感じなんですか、具合は。

高齢者：どうも、疲れやすくて、ため息ばかりでね…  
体調悪いときは、しんどくて…



ボ ラ：病院は行ってらっしゃいますか。

高齢者：いえ…最近行ってません。

ボ ラ：他には調子悪いところはないですか。

高齢者：やっぱりいろいろと考え事すると眠れなくなります。  
気持ちも落ち込んでね。でも、ここに来ると気が紛れていいです。  
話も聞いてくれるし…



ボ ラ：そうでしたか。

もし体調が悪いときは保健師さんやケアチームの方々に相談してみてもいいですか。  
時々いらっしゃるんですよ。

高齢者：そうですか。前に一回眠れなくてお薬もらったことがあります。



ボ ラ：こちらの方でも保健師さんに連絡いれてみましょうか。

高齢者：あらそうですか、ありがとうございます。



ボ ラ：気も紛れるようだから、これからもここに来てくださいね。  
待ってますから。  
リラックスしたり、身体を動かしたりというの、やっているんですよ。

高齢者：わかりました。よろしくお願いします。

ボ ラ：これどうぞ。

高齢者：どうもありがとうございます。

ボ ラ：ゆっくりしていきってくださいね。

